

行政視察報告書

| | | | |
|---------|---|------|------|
| 所属委員会 | 産業建設委員会 | 委員氏名 | 藤森 弘 |
| 行政視察の名称 | 令和6年度【産業建設委員会】行政視察 | | |
| 日程 | 令和6年7月24日(水)～7月26日(金) (3日間) | | |
| 視察都市名等 | (1)山梨県南アルプス市：Fumotto 南アルプス (2)神奈川県相模原市：サイクルツーリズム (3)神奈川県綾瀬市：ロケーションサービス (4)神奈川県小田原市：小田原宿なりわい交流館 | | |



行政視察報告書

(1) 山梨県南アルプス市：Fumotto 南アルプス

① 視察先での特記事項（当日の質疑応答事項等）

南アルプス市は平成15年4月1日、八田村、白根町、芦安村、若草町、楡形町、甲西町の6町村の合併によって誕生した人口71500人余の山岳都市。人口は増加傾向にあるとのこと。「自然と文化が調和した幸せ創造都市」というキャッチフレーズ（シビックプライド）が印象的でした。

今回訪れた「Fumotto 南アルプス」は、「遊ぶ」「買う」「食べる」を備えた交流型の複合体験施設で、名称の由来は、南アルプスの山々の「麓（ふもと）」にある地域で、「にぎわいを生む」「活力を創出する」「多世代が親しむ」という施設の目的を「もっと」というキーワードに込めたとのことでした。

「Fumotto 南アルプス」の特徴と魅力

(1) 自然の美しさ

南アルプスは豊かな自然環境が魅力で、山々や溪谷、森林など美しい景観が広がっており、ハイキングや登山などのアクティビティが楽しめるエリアであることが観光客を惹き付けているようでした。

(2) 温泉

南アルプス周辺には温泉地も多くあり、自然の中でリラックスできる温泉が観光の楽しみの目玉となっているようでした。

(3) 地域の特産品

フルーツ王国・山梨のお膝元で、地元の特産品やグルメが楽しめることも魅力で、地元で採れた新鮮な野菜や果物、地元の食材を使った郷土料理などが人気のようでした。施設内にあるバイキング・ビュッフェのメニューは地元野菜であふれており、健康志向の女性や高齢者、家族連れで賑わっていました。

(4) アウトドア活動

南アルプスの地域では登山やトレッキング、キャンプなど、さまざまなアウトドア活動が楽しめることも魅力で、南アルプスの山々は登山愛好者にとって不動の人気エリアであるようでした。

② 評価、感想

地域の〈自然資源〉を最大限に活かした山岳観光振興が軌道に乗っており、観光産業振興における自然との共生・共創の重要性を改めて認識する機会となりました。同市からいただいた資料によると「職・住・自然の隣接」を最重要視していることが分かります。

③ 岡谷市政に反映すべき点は何か

「利便性のある都市空間」×「希少性のある自然環境」の相乗効果をまちづくりの基幹コンセプトとしている点は大いに見做ってしかるべきだと思いました。

④ 岡谷市政として取り組んだ場合の課題、問題点

〈自然資源〉の豊かさという点では岡谷市も負けてはいないものの、多くの市民がその価値に気づいていないことや、活かし方のノウハウが未熟である点を自省し再認識すべきでしょう。

⑤ 視察市から受けたまち全体、あるいは市政全般の印象等で特記事項 特記事項なし。

行政視察報告書

(2) 神奈川県相模原市：サイクルツーリズム

① 視察先での特記事項（当日の質疑応答事項等）

神奈川県相模原市は、東京 2020 オリンピックにおいて、市内約 30 kmが自転車ロードレース競技コースに選ばれたことを契機として市内のサイクリングに対する注目度が高まり、サイクリングルートや関連施設の整備が進められたことで、市内のサイクリング環境が向上し、観光客やサイクリストにとってより魅力的な地域となっているようでした。

相模湖や丹沢山系など起伏に富んだ自然豊かな環境を背景にしたルートがサイクリング愛好者に親しまれ、リピーターが多いことが地域振興につながっているようでした。

オリンピック競技に使われたコースに関連するサイクリングマップやガイドが整備されており、オリンピックのコースを体験できるようになっていることが魅力の源泉となっているようでした。相模原市内を横断するサイクリング専用道路があり、初心者から上級者まで楽しめるさまざまなコースが用意されている点も魅力的でした。

地元の観光協会やサイクリングクラブがサイクリングガイドツアーを提供している場合もあり、これらに参加することで、地域の歴史や文化についての詳しい情報を得ながら、安全にサイクリングを楽しむことができる工夫は特筆に値します。

② 評価、感想

サイクリストのレベルやニーズに応じた多様なコース設定が魅力にあふれており、サイクリストが生み出す経済効果や地域の賑わいを創出する施策の工夫は「素晴らしい」の一言でした。

③ 岡谷市政に反映すべき点は何か

自転車を利用した観光促進や地域経済の活性化を図ることを目的とした相模市の「**サイクルツーリズム推進事業補助金**」には見習うべき点が多くあった。

(1) サイクルサポートステーション整備事業

- ・ サイクルラック、空気入れ、工具等の購入費用などサイクルツーリズム環境の向上に資する経費を補助
- ・ 給水機、冷蔵庫、休憩用ベンチ等の購入費用などサイクリストの疲労回復等をサポートするための経費を補助

補助率 10/10 補助上限額 6 万円

(2) 立ち寄りスポット創出事業

- ・ 自転車を屋内に持ち込むためのスロープ整備、防犯に資する資材等の購入費および工事費などサイクリストが安心して休憩できるようにするための経費を補助
- ・ サイクルラック、空気入れ、工具、店舗敷地内における駐輪スペースの設置にかかる資材購入費および工事費、オリジナルノベルティの製作経費などを補助

補助率 3/4 補助上限額 15 万円

④ 岡谷市政として取り組んだ場合の課題、問題点

諏訪湖サイクリングロードが整備されたものの、トイレや休憩所の不足など課題が未だに多い。公費でトイレや休憩所を新設するのではなく、近隣の民間施設や店舗に補助金を出すことで「サポートステーション」や「立ち寄りスポット」を整備する相模原市の手法は見習うべき点が多い。コンビニ店舗などに働きかけて気兼ねなくトイレを使えるようにしたり、サイクルラックを備えた飲食店や喫茶店を増やすことなどを早急に検討してしかるべきだと思った。こうした補助事業の取り組みは地域経済の活性化や賑わいの創出にもつながると思われる。

⑤ 視察市から受けたまち全体、あるいは市政全般の印象等

高度なマーケティング調査が緻密に行われており、「地域経営」に秀でた相模原市のレベルの高さには脱帽でした。

行政視察報告書

視察内容・感想等

(3) 神奈川県綾瀬市：ロケーションサービス

① 視察先での特記事項（当日の質疑応答事項等）

綾瀬市は、神奈川県の中でも自然と都市が調和したエリアで、「緑と文化が薫るふれあいのまち」をキャッチフレーズ（シビックプライド）にしていた。

綾瀬市では「ロケツーリズム」に取り組んでおり、商業観光課内に専属の職員を配置して、映画やTVドラマの撮影を積極的に誘致する事業に本腰を入れているようでした。

「ロケツーリズム」とは、映画やTVドラマの撮影が行われた場所（ロケ地）を訪れる観光のことを指す。これは特に、映画やテレビ番組のファンにとって魅力的な旅行スタイルで、特定の作品のシーンが撮影された場所を実際に訪れることで、その作品の世界観を体感できるのが特徴。

◎ロケツーリズムの特徴

(1) ロケ地巡り

ファンが特定の映画やドラマの撮影場所を訪れ、そのシーンを思い出しながら楽しむことが主流の旅のスタイルとなる。その際、地元のグルメを堪能する「食べ歩き」をセットにすることが多く、綾瀬市では「グルメと一緒に楽しもう！綾瀬ロケ地MAP」を毎年発行して観光振興を図っている。

(2) 地域振興の起爆剤

撮影地を観光地として特化する演出をすることで地域の知名度が上がり、「シビックプライド（Civic Pride）※下記参照」を醸成することで地域経済の活性化につながる効果が見込める。

(3) 文化交流の深化

撮影場所にゆかりの地元の文化や歴史を地元住民が再認識するきっかけになるとともに、観光客と地元住民との交流も生まれやすく、文化による関係人口の拡大に寄与する効果も見込める。

◎綾瀬市の撮影スポット

- ・綾瀬スポーツ公園：・・・広大な緑地とスポーツ施設が揃った公園で、アウトドア撮影に適している。
- ・綾瀬市文化会館：・・・建物のデザインや周辺の施設が、舞台やイベントの撮影に使われる。
- ・綾瀬市立図書館：・・・静かな雰囲気の中で、知的な撮影やインタビューに最適。
- ・綾瀬市役所：・・・敷地と市庁舎全体がロケに適したセットのようになっており、看板を付け替えるだけで幅広い用途に使われている。

② 評価、感想

市の知名度を上げてブランド力を強化する導火線として有名タレントや著名な映像作品を弾力的に活用する手法には見習うべき点が多いと感じた。

③ 岡谷市政に反映すべき点は何か

ゴジラ作品の成功を起点として、もっとロケツーリズムを積極的に仕掛けるべきだろう。

④ 岡谷市政として取り組んだ場合の課題、問題点

岡谷市では旧庁舎ばかりが脚光を浴びているが、制作者の目線では市内の至る所が撮影スポットになり得る潜在的可能性を有している。映画やTVドラマのエキストラを趣味としている私の目にも面白い撮影スポットは多い。

⑤ 視察市から受けたまち全体、あるいは市政全般の印象等

「緑と文化」がまちづくりの基底にあり、“住んで楽しいまち”になっている気がした。

行政視察報告書

※「シビックプライド (Civic Pride)」とは

地域やコミュニティに対する誇りや愛着を意味するまちづくりのキーワード。具体的には、自分が住んでいる街や地域、国に対して持つポジティブな感情や態度を指す。この感情は、地域社会の発展や改善に対する意欲、地元の文化や歴史への尊敬、地域のイベントや活動への参加などに現れることが多い。

シビックプライドを持つことは、以下のような形で表れることが多いという。

- (1) 地域活動への参加・・・地元のイベントやボランティア活動に積極的に参加する。
- (2) 地域の特性を大切にする・・・地元の文化や歴史を尊重し、地域の特色を他者に伝える。
- (3) 地域の問題解決に貢献する・・・地域の問題や課題に対して意見を述べたり、解決策を提案したりする人材を育成する。
- (4) 地域経済の支援・・・地元のビジネスやサービスを利用し、地域経済を支える。

シビックプライドは、地域社会の連帯感を高め、コミュニティの発展に寄与する重要な要素であるようだ。自分が住んでいる地域に対してどのようなシビックプライドを持っているか、または持ちたいかについて、幅広く話し合うのも良いかもしれませんね。

(4) 神奈川県小田原市：小田原宿なりわい交流館

① 視察先での特記事項（当日の質疑応答事項等）

小田原市は、神奈川県西部に位置する歴史と自然が豊かな都市で、古くから交通の要衝として栄え、特に戦国時代には小田原城を中心に北条氏の本拠地として知られている。歴史的な背景と自然の豊かさが調和した都市で、観光や食文化、歴史探訪を楽しむことができる。

私たちは「小田原宿なりわい交流館」で同市の観光振興策について市の担当職員から話を聞く機会を得た。同館は江戸時代の小田原宿の文化や歴史を学べる場所として人気の様子で、話を聞いている間にも入れ替わり立ち替わり家族連れの観光客の来訪があった。

ここでは、小田原宿の伝統的な職人技や生活文化を保存・継承することも目的としており、観光客や地元の人々が小田原の歴史に触れる場として利用されているという。

◎小田原宿なりわい交流館の特徴

歴史的建造物・・・江戸時代の街道沿いにあった商家を再現した建物で、当時の町の雰囲気を感じることができる。

展示内容・・・小田原宿の歴史や文化に関する展示が行われており、地域の伝統産業や日常生活を学ぶことができる。

ワークショップ・・・地元の職人による工芸品制作や伝統技術の体験ができるワークショップが開催されている。

「小田原宿なりわい交流館」は、観光スポット、地元の文化や歴史を次世代に伝える教育の場、地域の伝統産業や文化を体験する場など、多彩な機能を果たしており、地域経済や地域文化の活性化にも寄与しているようだった。小田原市の観光資源は「歴史と文化」だと言えるかもしれません。

② 評価、感想

江戸時代は「宿場町」として栄え、明治時代は政財界人や文化人の「別荘居住地」として愛された歴史・文化遺産に加え、かまぼこを始めとした海産物の練り物や干物が特産品として人気があり、さまざまな“顔”を持つ都市だと感じました。

行政視察報告書

- ③ 岡谷市政に反映すべき点は何か
観光客向けの土産品や特産品売り場の充実ぶりは見倣うべきでしょう。
- ④ 岡谷市政として取り組んだ場合の課題、問題点
岡谷市は、土産品の品揃えが貧弱で、道の駅のような観光客向けの特産品売り場がなく、観光産業振興を図るうえで大きな弱点になっているように思いました。
- ⑤ 視察市から受けたまち全体、あるいは市政全般の印象等
「歴史の香りがするまち」という印象が色濃く脳裏に焼き付いています。

